

おおたの教育

今号の主な内容

第105号

大田区教育委員会広報

平成22年(2010年)
10月1日発行

- 第1面 自然体験学習
- 第2面 大田区学習効果測定の結果から
- 第3面 教育研究推進校の紹介
- 第4面 小学校教科用図書の採択結果

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL. 03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

自然体験学習を充実しました

～学びを支え、心をはぐくむ体験活動をすすめます～

教育委員会では、小学校5年生から中学校1年生を対象に自然体験学習を、中学校2年生を対象に職場体験学習を実施し、未来を担う子どもたちのために生きる力をはぐくむ教育を推進しています。大きく変化する現代社会を生き抜いていくために、体験学習を通して自ら考え、学び、行動する力を育成していきます。今回は、自然体験学習についてご紹介します。

<なぜ自然体験学習が必要か?>都市化や少子化、人間関係の希薄化が進む中、子どもたちが成長していく上で必要な多くの人々とかわり、豊かな自然と触れ合う直接体験の機会が少なくなってきました。

移動教室では、豊かな自然に触れながら、先生や友達、様々な人たちとかわる直接体験をとおして、社会性や協調性を学びます。



<体験が学びを支える移動教室>火を扱った経験の少ない子どもたちは、着火や火勢を維持することが苦手です。しかし、移動教室での飯ごう炊さんで「食事を自分たちで作らなければならない」という切実な状況になれば、子どもたちは空気を送ったり薪の置き方を工夫し、試行錯誤しながら、条件を変えて

火が消えないように一生懸命取り組みます。

小学校6年生の理科では「燃焼の仕組み」を学び、実験で確かめます。移動教室では理科の授業で学んだことを生かし、キャンプファイヤーの薪が井げたに組まれているのは、空気が入りやすいようにするためであることを実感します。

また、さまざまな動植物との出会いもあり、急に雨が降り出して、急きょ計画の変更を余儀なくされるなど、自然との意外なかわりもあります。

このように移動教室では校内での学びを活用する場面がたくさんあります。各学校では、それぞれの児童・生徒の実態に応じた移動教室のプログラムを設定しています。

「野辺山学園」移動教室参加生徒の感想

私はこの移動教室で、今まで東京にいたために気づけなかったことがあることに気がつきました。まずは自然です。野辺山は、辺り一面に木や草など緑が広がっていました。空気がとてもすがすがしく、体がリセットされた感じがしました。その大自然の中、私たちはオリエンテーリングをしました。

最初は順位にこだわり、早く先に行くことばかり考え、走るようにどんどん進んで行きました。そのせいか、チェックポイントを見逃したのか、違う道を間違えた事にも気付かず、どんどん先に進んでしまいました。だいぶ進んでも、前の班がなかなか見あたらず、迷った事にやっと気が付きました。大自然なので、同じ景色が続く、何の目印も無かったので延々と歩き続けお店を発見したときは、本当にほっとしました。

みんなけんかもせず、文句も言わず、励ましながらゴールに向かいました。そしてゴールしたときのリンゴジュースはとっても美味しく、体にしみわたり、生き返ったような気がしました。

もし、一人だったら、とても不安だったかもしれないし、ゴールまでたどり着けなかったかもしれないけれど、班のみんながいたからこそ、協力し合いゴールできたんだと思います。



(大森第六中学校1年生の作文から抜粋)



「伊豆高原学園」移動教室(入新井第四小学校5年生二通健太君の作品)

<心をはぐくむ移動教室>集団生活の中で様々な課題に取り組み活動すると、誰でも不自由を感じてもがまんしたり、時には戸惑う場面も出てきます。その際、わがままを抑え、友達の気持ちを尊重し、協力し合わなければ活動がストップしてしまいます。「思いどおりにならないことがある」ことを体験的に学ぶことは、これからの社会を生きていく上で大変重要です。

食事で好き嫌いの多かった子どもが、農業体験をとおして生産者の思いや努力、工夫に触れ、これまで食べられなかったものも少しずつ食べるようになることがあります。

移動教室で友達や先生、様々な人々とかわり、心をはぐくむことも移動教室のねらいのひとつです。

先生や友達と寝食を共にし、豊かな自然の中で過ごしながら頭だけでなく身体の諸感覚を駆使して感じ、考え、行動する貴重な体験の場です。数日間の体験は、学校の教室の中では得られない人間を成長させる力があり、その後の人間形成に大きな影響を及ぼすことも少なくありません。

大田区では、昨年度から体験学習の見直しを行い、おおた教育振興プランに基づき、生きる力をはぐくむ教育を推進しています。各学校の取り組みを踏まえ、さらに自然宿泊体験活動を充実していきます。

問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

「大田区休養村とうぶ」移動教室参加児童の感想

移動教室三日目、私は、自然の大切さを間伐体験の作業をとおして学びました。十月とは思えない寒さの中、レンゲツツジを守るために、私たちはレンゲツツジを太陽から隠してしまうので、大きく育った木を切りました。装備はヘルメットとノコギリでした。

間伐をする前は、木を簡単に切ることができると思っていたけれど、実際は細い木を切るのも意外とたいへんでした。太い木は、グループで順番に切っていきました。私の想像をはるかに超える大きさでした。一回目ノコギリを押すことはできませんでした。でも、引けませんでした。無理に引いたらころびそうになりました。私の親指と人さし指が痛み出していました。なかなか倒れなかったけれど、倒れた時は気持ちが晴れ晴れしました。



間伐体験や森林体験を通して森の大切さや役割を知りました。これからは庭に木を植えたり、植物やものを大切にしたり、自分にできることを少しずつしていきたいです。そして、地球に優しい人になりたいです。

(大森第一小学校昨年度の6年生の作文から抜粋)

大田区学習効果測定の結果から

大田区では、児童・生徒一人ひとりの基礎的・基本的な学習内容の定着状況を把握するため、区立学校に通うすべての小学校4年生から中学校3年生を対象に、大田区学習効果測定を平成20年度から毎年実施しています。

今年度は5月7日に実施しました。小学校では、5年生の算数と理科を除くと前年度同学年の結果より若干下回っています。しかしながら、4年生の理科を除いて本区正答率は期待正答率を上回っています。特に4年生の算数、5年生の国語、社会、算数、6年生の算数は5ポイント以上期待正答率を上回っており、授業改善等の効果が現れています。

中学校では、ほぼ前年度と変わらない結果となっています。1年生は社会を除いて期待正答率を上回っています。一方、2年生と3年生の理科、社会は期待正答率を5ポイント以上下回っているため、一層の授業改善と学習内容の確実な定着が課題となっています。

学習内容を理解し定着させるために

各学校では、その学年、その教科の中で子どもたちがどこでつまずき易いのかを明らかにして、丁寧な指導を行うように指導方法や指導内容を見直ししています。また、補習教室などを実施し、より確実な学力の定着を図ります。

各家庭では、子どもたちに「家庭学習の習慣」を身に付けさせるため、事前に教科書に目を通し、理解が難しい箇所をあらかじめ知っておくための予習や、その日の授業で学んだ内容を整理するための復習など、自宅における学習環境の整備と日頃の指導をお願いします。

問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

平成22年度 大田区学習効果測定結果

小学校	国語	社会	算数	理科	
4年	73.4 74.4(-1.0)	76.5 78.0(-2.5)	77.9 85.4(-0.4)	76.1 74.2(-1.3)	
5年	70.7 75.7(-0.2)	75.9 83.8(-0.1)	74.1 81.7(+0.7)	70.0 74.0(+1.7)	
6年	71.1 74.3(-1.2)	69.6 74.4(-0.1)	78.8 84.1(-0.2)	72.4 74.8(-0.6)	
中学校	国語	社会	数学	理科	英語
1年	74.1 87.1(+0.8)	69.6 67.8(-0.1)	75.0 87.1(-0.8)	73.8 74.3(+0.6)	-
2年	74.8 72.8(+0.2)	66.7 60.5(+0.1)	67.0 66.2(+2.0)	58.4 47.2(-0.1)	73.0 74.1(+1.5)
3年	73.0 70.5(+0.4)	65.8 57.9(+0.6)	65.6 64.3(+0.1)	62.5 54.8(-1.2)	65.5 63.3(-0.2)

※各学年の上段は期待正答率、下段は本区正答率
※カッコ内は前年度同学年との比較

適応指導教室「つばさ」羽田教室が開室しました

「つばさ」は区の教育施設で、心理的理由等で登校できなくなった児童・生徒への学校復帰への援助をする適応指導教室です。少人数の温かい雰囲気の中で、体験活動、スポーツ、学習などを通して、子どもたちの自立心を養い、集団生活への適応力や学校復帰への気力を高めます。

適応指導教室「つばさ」は、これまでの池上教室と蒲田教室の2教室に加え、7月16日に新たに羽田教室が開室し3教室となりました。各教室では、見学・相談・体験を随時受け付けています。

設置場所：池上教室 池上3-27-6 電話3752-8301
蒲田教室 西六郷1-4-2 電話3736-6051
羽田教室 羽田4-11-3 電話3744-9329

対象者：入室を希望する区立小学校児童(4・5・6年)と区立中学校生徒

指導者：教育経験者及びその補助者

入室期間：4月から3月まで(途中入室も随時可能です)

開室日：月曜日から金曜日(年末年始、祝日を除く)

問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

10月は「早寝・早起き・朝ごはん」月間です

大田区では基本的な生活習慣の確立をめざして、5月・10月を「早寝・早起き・朝ごはん月間」としています。

ご家庭で、あるいは子どもたちが生活習慣の見直しを行う機会として、各小・中学校でさまざまな取り組みを行っています。各学校での取り組み内容をご紹介します。

- 「自己チェックシート」を使い自分の生活を振り返ることで、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣づけに取り組んでいる。
- お話会で「早寝・早起き」の大切さについて学習し、また、6年生が自分の体験をもとに他学年へ発表することで、生活習慣に関する子どもたちの意欲や関心を高めている。
- 保健だより「自己チェックシート」の集計結果や「朝ごはんの必要性」について掲載し、各ご家庭での生活習慣の見直しを勧めた。
- 給食だよりに掲載し、家庭での十分な睡眠やバランスの良い食事をとること等の重要性を訴え、再認識を図ることができた。
- 区立小・中学校体力調査実施報告書から課題を検証し、学年だよりへの掲載やPTAの委員会での話題とする等の取り組みを行った。

問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665



就学通知書を12月下旬にお送りします

平成23年度大田区立小・中学校への就学通知書を12月下旬に発送します。大田区は「家庭、学校、地域」が一体となって地域の子どもの見守り育てるため、地域に根ざした学校づくりを目標とし、住所によって学校を定める指定校制度を採用しています(通学区域は区のホームページでご確認いただけます)。したがって、学校選択制ではありません。

ただし、指定校以外の学校を希望する相当の理由があり、かつ受け入れる学校に支障がない場合は、指定校変更申請により指定校以外の学校に入学することができます。申請にあたっては下記注意事項をご確認ください。

平成23年度新入学児童・生徒の指定校変更申請の一斉受付は、1月上旬に区役所本庁舎で行います。日程等の詳細は、就学通知書をご覧ください。

指定校変更での受入れを制限する学校については、区のホームページでは12月1日から、大田区報では12月21日号においてお知らせします。

【指定校変更の注意事項】

- 現在指定校変更で通学している小学校と通学区域が重なっている中学校へ入学を希望する場合でも、希望する中学校が指定校でない限りは指定校変更申請が必要となります。
- 学校施設の設備状況などによって受入が困難な場合は、指定校変更を許可できないことがあります。
- 指定校変更希望者が受入れ枠を超えた場合は抽せんによって入学を決定することがあります。その場合、申請理由に優劣は設けません。
- 私立学校等を受験予定だが、区立であれば指定校以外に入学を希望する場合は、受験結果を待たず、受付期間中に指定校変更申請を行ってください。
- 大田区外から大田区立小中学校に区域外就学することはできません。

問合せ 学務課学事係 TEL 5744-1429 FAX 5744-1536

平成22年度 大田区教育委員会教育研究推進校の紹介

教育委員会では、「おおた教育振興プラン」の「教員の指導力向上アクションプラン」の具現化に向けて、教育研究推進校を指定し、当面する教育課題を積極的に解決するとともに、全校に研究成果を広く普及・啓発し、授業力の向上を図っています。

小学校では平成23年度から、中学校では平成24年度から新しい学習指導要領が全面実施されます。各教育研究推進校では、これからの教育の在り方を見据え、子どもたち一人ひとりに基礎的・

基本的な学習内容の確実な定着を図るとともに、獲得した知識・理解・技能を活用して思考力・判断力・表現力を高める授業の在り方を研究しています。

今年度は9校の小・中学校が、2年間の研究の成果を発表します。それぞれの教育研究推進校の取り組みと発表日程を紹介します。

☎ 問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

◆赤松小学校 (校長 吉野 明)

平成22年10月13日(水)

『もっと楽しく、もっと深くダイナミックに学ぶ子ども～「気付きの質」「探究的活動」という視点から、生活科・総合的な学習の時間の学びを見直し、子どもたちの豊かな学びを創り出す指導の工夫～』

地域の特色を活かした教材を開発し、探究的な活動の充実を図ることを通して、子どもたちの豊かな気付きを促し、学ぶ楽しさを実感できる授業の在り方を追究しています。

◆田園調布中学校 (校長 畑野 信晴)

平成22年11月12日(金)

『「言語活動」充実の工夫とその実践』

新しい学習指導要領で重視されている言語活動の在り方について研究しています。各教科の目標を達成し、生徒一人ひとりに基礎・基本の徹底を図り、活用できる力を育てます。

◆東調布第三小学校 (校長 井上千壽子)

平成23年1月28日(金)

『確かな表現力を育てる。』

国語の授業を中心に言語活動を充実させ、言葉のもつ役割や働きについて理解させるとともに、豊かな感性や自分の思いを表現できる力の育成に努めています。

◆池上第二小学校 (校長 菅谷美津江)

平成22年10月15日(金)

『自ら考え、学び合い、表現する児童の育成～問題解決的な学習(社会科・生活科)を通して～』

生活科・社会科における基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と子どもたちの思考力・判断力・表現力を高め、ともに学ぶ合う子どもの育成を図る問題解決学習の在り方を研究しています。

◆道塚小学校 (校長 山本恵美子)

平成22年11月19日(金)

『国際社会に生きる心豊かな子どもの育成(外国語活動)』

平成23年度から全面実施される小学校外国語活動の在り方について研究し、外国の言葉や文化に親しみ、国際感覚豊かな人間の育成とコミュニケーション能力の素地を養う楽しい活動を提案します。

◆入新井第一小学校 (校長 三田 盛久)

平成23年2月8日(火)

『あらゆる場で生き生きと伝え合う子供～各教科・道徳等での伝え合い、学び合いを通して～』

「言語活動の充実」を図り、国語と算数の授業を中心に子どもたちの「伝え合う力」の育成を目指します。

◆馬込小学校 (校長 森本 忠治)

平成22年11月11日(木)

『いきいき健康・元気な子ども～心も体も健やかな子どもの育成を目指して～』

子どもたちの体力向上と健康増進を目指し、体育の授業改善や「遊び」の活性化、基本的生活習慣の確立を図る教育活動を展開します。

◆大森第一小学校 (校長 上野 研二)

平成23年1月25日(火)

『はぐくもう豊かな心～伝え合う力を高める指導を目指して～』

目的や課題に即して文章を「読む力」を高めるとともに他者との交流「話し合い活動」の充実を図り、豊かに伝え合う力の育成に取り組んでいます。

◆雪谷小学校 (校長 脇田 廣)

平成23年2月10日(木)

『よく考えて 進んで表現する 児童の育成』

全ての教科等において、子どもたちが考える楽しさや表現する喜びを味わい、主体的に学習することができる指導方法の工夫や授業改善の取り組みを提案します。

友好の架け橋～豊かな国際感覚とコミュニケーション能力の育成を目指して — 第26回 平成22年度大田区立中学校生徒海外派遣報告 —

7月23日(金)から8月3日(火)までの12日間、区立中学生56名(各中学校男女1名ずつ計2名)がアメリカ合衆国に滞在しました。訪問先は、姉妹都市であるセーラム市と近郊のディアフィールドです。

海外派遣は、中学生が海外での生活体験を通して、外国の生活や文化の理解を深めるとともに英語の習熟を図り、国際社会において信頼と尊敬の得られる人間性豊かな生徒を育成することを目的に実施しています。

成田を飛び立った派遣団一行は、ボストンを経由し、Aコースのセーラム市とBコースのディアフィールドに分かれてホームステイを行いました。初めてホストファミリーと会った子どもたちの中には、目と目を合わすことすら恥ずかしがる生徒もいましたが、共に生活していく中で、言葉の壁を越え、「自分の思いを一生懸命伝えよう」「相手の思いを理解しよう」という心と心のふれあいを通して温かい人間関係が築けました。ホストファミリーとのお別れの朝、あふれる涙が止まらず、きっと誰もが心の中で、再会を誓い合ったことでしょう。

最後に訪れたニューヨーク。まさに世界の経済、ファッション、文化の中心地に立ち、改めてアメリカの大きさと力を感じました。

今回の派遣を通して、生徒一人ひとりが豊かな国際感覚を身に付け、世界で活躍できる人間になってほしいと願っています。

☎ 問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665



セーラム市庁舎会議場にて

市内公園にてドリスコル市長と共に
(Tシャツはプレゼントされました)



Aコース 大森第十中学校 木村 圭穂さん

このたびの海外派遣で私は、たくさんのことを学び、たくさんのすばらしい思い出をつくることができました。

ホームステイプログラムのホストファミリーとのフリーデーの日。私は買い物をしたり、鯨を見に海に行ったりしました。家族で鯨を見たときは、「あっちにいる!」、「こっちだよ」と声を掛け合い、楽しい時間を分かち合いました。

この家族と過ごした8日間は、私の宝物となりました。

このような機会を与えてくれました大田区に感謝申し上げます。ありがとうございました。この経験を未来につなげていきます。

Bコース 馬込中学校 大谷 菜緒さん

私は、12日間のアメリカでの生活を通して、現地の方々の明るさと優しさに感動しました。ホームステイの中では、ホストファミリーからたくさんの優しさを受けました。町に出て買い物をしたときも、お店の方がゆっくりと商品の説明をしてくださりました。たくさんの優しさがいろいろなところにありました。そのおかげで、とても楽しく充実した日々を送ることができました。

これからは、アメリカで経験したことをたくさんの人に広め、生かしていきたいです。

平成23年度使用 大田区立小学校教科書用図書の採択結果について

平成23年度に大田区立小学校で使用する教科用図書の採択が8月5日の教育委員会臨時会で行われました。採択結果は右表のとおりです。この教科書は、平成26年度までの4年間使用されます。

☎ 問合せ先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665



種目	発行者	書名
国語	光村図書	国語
書写	光村図書	書写
社会	教育出版	小学社会
地図	帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳
算数	東京書籍	新しい算数
理科	学校図書	みんなと学ぶ 小学校 理科
生活	光村図書	せいかつ
音楽	教育芸術社	小学生の音楽
図画工作	日本文教出版	図画工作
家庭	開隆堂出版	小学校 わたしたちの家庭科
保健	学研教育みらい	みんなの保健

第27回 大田区区民スポーツまつりの開催について

10月11日(月)、体育の日に第27回大田区区民スポーツまつりを開催します。会場は、大森スポーツセンター、大田スタジアム、多摩川緑地、区立小・中学校、民間スポーツ施設など区内45ヶ所です。各会場では区内スポーツ団体などの協力により、さまざまなスポーツやレクリエーションを楽しむことができます。これを機会にいろいろなスポーツを体験しませんか？
会場や種目は大田区報、区設掲示板でご案内するとともに、プログラムの詳細はホームページに掲載しています。ご家族やお友達などお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。



☎ 問合せ先 大田区体育協会 TEL 5471-8787 FAX 5471-8789
社会教育課事業担当 TEL 5744-1447 FAX 5744-1539
HP http://www.city.ota.tokyo.jp/event/event_sports/

表彰

- スポーツ部門
 - ・第20回全日本ドッジボール選手権大会出場 相生ガキーズ〈ベスト8〉 道塚ドリームウィングス
 - ・第1回全日本女子ドッジボール選手権大会 女塚ゴッチャンアテナ〈ベスト8〉
 - ・第40回全日本中学校バレーボール選手権大会 貝塚中学校 男子バレーボール部〈ベスト16〉
 - ・第41回全国中学校ソフトテニス大会出場 志茂田中学校(男子個人戦) 3年 鈴木真伍・松野翔
 - ・第37回全国陸上競技選手権大会出場 石川台中学校 女子砲丸投げ 3年 晴山江梨花 東蒲中学校 女子200メートル 3年 チャールズ・マンフィー・サラフィナ・恵美子
 - ・第63回都民体育大会(大田区総合成績) 女子総合1位、男子総合2位
- 文化部門
 - ・第50回東京都中学校吹奏楽コンクール 田園調布中学校〈金賞〉
 - ・第29回全日本小学校バンドフェスティバル東京都大会 大森第四小学校吹奏楽クラブ〈金賞〉
- 感謝状
 - ・石川台中学校生徒会 交通ボランティア活動に対して、警視庁交通部長から感謝状が贈呈されました。

教育委員会委員長等の就任について

第6回教育委員会定例会にて、任期満了に伴う委員長選挙が行われました。新しい委員長及び委員長職務代理者は次のとおりです。



委員長 櫻井 光政



委員長職務代理者 野口 和矩

教育委員会の主な議題

- 平成22年第6回定例会
 - ・学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する訓令
 - ・大田区教育委員会委員長の選挙
- 平成22年第7回定例会
 - ・平成23年度使用大田区立小学校教科用図書調査資料報告
 - ・大田区スポーツ振興審議会委員の任命について
- 平成22年第8回定例会

- ・大田区立図書館設置条例の一部を改正する条例原案の提出について
- ・大田区総合体育館に係る指定管理者の指定手続き等に関する規則外1件
- 平成22年第2回臨時会
 - ・学校教育法附則第9条の規定に基づく平成23年度特別支援学級使用教科用図書採択について
 - ・平成23年度使用大田区立小学校教科用図書の採択について

教育委員会定例会の開催予定日

- 日時 平成22年10月27日(水)
平成22年11月17日(水)
平成22年12月22日(水)
- 時間 午後2時から
- 場所 本庁舎6階教育委員会室
- ※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。

☎ 問合せ先 教育総務課庶務係
TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

